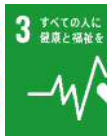


支えあうまち

京都市障害保健福祉行政情報 第12号



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

令和3年度 京都市予算(障害保健福祉関係)の概要

令和3年度京都市予算は、コロナ禍と財政危機、この2つの危機に対して、京都の今と未来を見据え、市民の皆様の命と暮らしを守り抜くことを基本姿勢として編成しました。

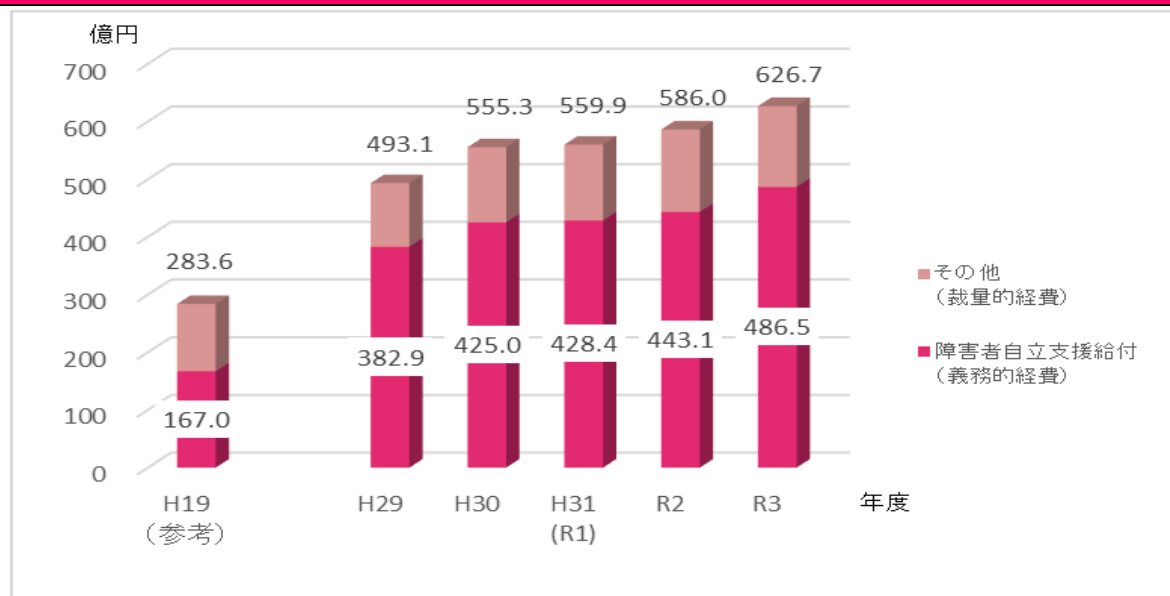
安心安全で魅力あふれる京都を将来にわたって継承・発展し、新たな京都市基本計画「はばたけ未来へ！京プラン2025」に掲げる京都の未来像を実現するため、持続可能な行財政の確立に向けた改革をこれまで以上に徹底していきます。

保健福祉局においても、持続可能な社会を目指すSDGsが掲げる「すべての人に健康と福祉を」といった目標の実現を限られた財源の中で進めていくため、3年間の集中改革期間の初年度として、全事務事業をゼロベースで点検し、必要な見直しを行ったうえで、①コロナ禍においても、すべての市民の皆様のかげがえのない「いのち」と年齢や障害の有無にかかわらず、いきいきとした「暮らし」を守り、②世代や分野を超えて、すべての人々や団体が、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高めることができる「地域共生社会」の実現に向けた取組を推進する予算編成を行い、一般会計の23.5%を占める予算を確保しました。

項目	令和2年度	令和3年度	増減	伸び率
一般会計	7,840億円	1兆5億円	2,165億円	27.6%
保健福祉局 *人件費を除く	2,143億円 (27.3%)	2,353億円 (23.5%)	210億円	9.8%
障害者福祉予算 ()内は、障害者自立支援給付(義務的経費)	586.0億円 (443.1億円)	626.7億円 (486.5億円)	40.7億円 (43.4億円)	6.9% (9.8%)

障害者福祉予算においては、裁量的な事務事業の見直しや国費・府費等の積極的な取り込みを進めつつ、年々増加傾向にある障害者自立支援給付（法定給付）などの予算の確保を最優先に、「はぐくみ支えあうまち・京都ほほえみプラン」（平成30年3月策定）の推進を図るため、前年度を上回る626億7千万円（6.9%増）の予算を確保しています。

障害者福祉予算は年々増額。令和3年度は、平成19年度の2.2倍になっています。



令和3年度に実施予定の新規・充実事業等の重要事務事業を紹介します

① 重度障害者等就労支援特別事業（7,100万円）【新規】

重度障害者等の経済（就労）活動を支援するため、通勤や働く際に必要となる支援（喀痰吸引や体位の変換、安全確保のための見守り、移動の介護等）の障害福祉サービスに相当する費用を助成します。

② 強度行動障害児者入所支援事業（1,250万円）【新規】

強度行動障害のある方を受け入れた場合に必要となる費用（居室や動線の改修、安全センサーの設置、支援職員の専門性向上のための研修やコンサルテーション等）について、障害者支援施設、共同生活援助事業所、障害児入所施設に対して助成し、強度行動障害のある方の受入促進を図ります。

③ 医療的ケア児者等短期入所受入体制強化事業（3,300万円）【新規】

医療型短期入所事業所の拡大を図るため、医療型短期入所事業所が医療的ケアを必要とする児童や重症心身障害のある方を受け入れた場合に、障害福祉サービス等報酬と入院した場合の診療報酬との差額相当額を助成します。

④ 障害福祉サービス等事業所サービス継続支援事業（新型コロナウイルス感染症対策）（5,200万円）【継続】

障害福祉サービス等事業所において、必要なサービスを継続して提供できるよう、通常サービス提供時では想定されない、新型コロナウイルス感染症対策に要するかかり増し経費に対して支援を行います。

⑤ 障害者共同生活援助事業所整備助成（1億310万円※）【新規】

（※ 令和2年度補正予算3,800万円を含めた額になります。）

社会福祉法人が実施主体となっていく障害福祉サービス事業所に対して整備助成を行い、定員増を図ります。

◎名称：上鳥羽ひまわり園（仮称）（南区上鳥羽塔ノ森東向町）

実施主体：社会福祉法人向陵会

サービス種別（定員）：共同生活援助（定員17人）（短期入所3人併設）

◎名称：ステイウィズ（仮称）（中京区壬生淵田町）

実施主体：特定非営利活動法人ステイウィズ

サービス種別（定員）：共同生活援助（定員7人）

⑥ 地域リハビリテーション推進センター、こころの健康増進センター及び児童福祉センターの一体化整備事業（4億円）【継続】

各施設の一層の機能充実、連携強化による相乗効果の発揮、専門的中核機関として全市的な相談支援体制を充実させるとともに、耐震性能がなく老朽化している現行施設の課題を解消するため、3センター一体化する移転整備を行います。

令和3年度は、土壌汚染対策工事及び既存建物の地下部解体工事を行い、新築工事を進めます。

⑦ **身体障害者福祉センター整備事業（2,500万円）【新規】**

壬生合同福祉会館の再編のため、新施設の設計を行います。

⑧ **障害児・者福祉サービス利用支援策「新京都方式」（3億5,448万円※）【継続】**

（※ 子ども若者はぐくみ局事業（障害児関係）分1億1,779万円を含めた額になります。）

国においては、平成22年4月から、低所得者（市民税非課税）の障害福祉サービス及び補装具に係る利用者負担を無料とする措置が講じられています。

しかし、国制度では未だ低所得者の負担軽減措置が不十分であるため、**自立支援医療等について、一定の収入以下の低所得者の自己負担をなしとすることや、所得階層を細分化し国の定率負担の概ね1/2とするなど、本市独自の負担軽減策「新京都方式」を引き続き実施**し、障害のある方のサービス利用を支援していきます。

【参考】 関係する事業の一部を紹介します。

① **一時預かり事業における障害児等の受入体制の充実(2億3,913万円〔充実分2,480万円〕)【充実】**

障害のあるお子さんや多胎児の子育て家庭において、育児疲れ等による心理的・身体的負担の軽減を図るために、国において加算制度が設けられたことを踏まえ、要件を満たした施設に対して、事業を実施するために必要な費用の一部を支給します。

令和2年度の主な新規・充実事業の実施状況

令和2年度に実施した主な事業について、現時点の実施状況を報告します。

発達障害児者地域支援サポート事業

発達障害のある方の支援に関して多様化するニーズに対応するため、発達障害者支援センターに「地域支援マネジャー」を配置し、障害者支援施設及び障害福祉サービス事業所に対し、訪問等による助言やサポートを行うコンサルテーションを開始しました。令和2年度は、7事業所に対して支援を行っています。

また、ライフステージを通じた切れ目のない一貫した総合的な支援を行うため、関係機関の連携・情報共有ツールとして京都市版「個別支援ファイル」の運用を開始しました。

京都らしい農福連携推進事業

農業の新たな担い手確保と障害のある方の就労機会の創出・工賃の向上に向け、産業観光局と連携し、本市の独自ブランドである新京野菜等を活用し、障害者福祉施設が生産・加工・販売等に携われるよう、農家とのマッチング等に取り組み、販路開拓や地域の活性化を推進しています。令和2年度は、9事業所が農家から業務を受託。「京の黄真珠」を使ったパンや「みずき菜」のスムージーのメニュー開発を行いました。



生活介護事業所等整備助成事業

障害福祉サービス事業所（生活介護、共同生活援助（グループホーム）等）に対し、整備助成を行いました。

- ◎デイセンターあらしやま（仮称）（西京区嵐山上海道町）【生活介護20人】
- ◎ホームあらしやま（仮称）（西京区嵐山上海道町）【共同生活援助20人、短期入所2人】
- ◎グループホームりずむ（仮称）（北区小山西玄以町）【共同生活援助7人、短期入所3人】
- ◎西陣工房（北区大將軍東鷹司町）【就労B20名 ⇒ 就労B40人、生活介護10人】

各種新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の一環として、各種事業を実施しました。

【障害福祉サービス事業所等への支援】

- ①障害福祉サービス等事業所へのマスク・消毒液の配布や障害児施設における衛生用品等確保の支援
- ②障害福祉サービス等事業所に対するサービス継続支援（かかり増し経費の助成）
- ③就労継続支援B型事業所における工賃助成
- ④就労継続支援事業所に対する生産活動活性化支援
- ⑤障害福祉分野におけるテレワーク等導入支援
- ⑥多床室の個室化への改修及び簡易陰圧装置・換気設備の設置
- ⑦障害者福祉施設におけるWi-Fi環境整備
- ⑧医療機関、社会福祉施設及び児童福祉施設等への「支え合い支援金」の支給

【障害福祉分野の人材確保支援】

- ①雇用情勢の悪化を契機とする障害者福祉施設、児童福祉施設等の担い手確保対策

【相談支援体制の強化】

- ①こころの健康増進センターにおける自殺防止に関する相談体制の強化、個別寄り添い支援の実施

【その他】

- ①特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用者負担の補助

ひきこもりの相談窓口一元化等による支援の充実

年齢や施策ごとに分かれていた相談窓口を一つにまとめ、「「よりそい・つなぐ」相談窓口（京都市ひきこもり相談窓口）」を令和2年9月に開設しました。

また、「よりそい支援員」を各区役所に配置し、ひきこもりをはじめとする様々な困難を抱える世帯の課題解決に向けて伴走型支援を行っております。

医療的ケア児の受入支援の充実

医療的ケアを必要とする児童について、保育所等の受入人数を拡充するとともに、新たに、私立幼稚園及び学童クラブ事業においても、児童の症状や医療行為が必要な時間に合わせた看護師の配置等に係る制度を創設しました。

京都市障害保健福祉行政情報「支えあうまち」第12号 令和3年3発行

発行 京都市 保健福祉局 障害保健福祉推進室

京都市中京区河原町通御池下下丸屋町394番地Y・J・Kビル3階

TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等



京都市印刷物番号 第 号